

バイオ科学

阿波番茶使った青汁

植物性乳酸菌入り商品化

動物用医薬品などを製造販売するバイオ科学（阿南市）は、阿波番茶から取り出した植物性乳酸菌入り大麦若葉の青汁

Ⅱ写真Ⅱの販売を始めた。口当たりがよく、すっきりとして飲みやすく仕上がっている。

阿波番茶は、上勝町や那賀町などの山間地で栽培した茶葉を乳酸発酵さ

せた茶。阿波番茶から採取した植物性乳酸菌「YM2-12株」を培養し、1包（3号）当たり40億個配合した。

YM2-12株はウイルスや細菌の感染を防ぐ効果と、食物アレルギーや花粉症、アトピー性皮膚

炎などのアレルギーの抑制効果を持つことが信州大学などの研究で分かっ

ている。

大麦若葉

は、有機栽培の先進地

である米国

・ユタ州産

の有機認定

品を使用。

生のまま搾

汁し、30℃

40度で噴霧

して急速に乾燥させ粉末にする「低温スプレード

ライ製法」で加工した。葉緑素や酵素、ビタミン

といった栄養素がそのまま残っている。水に溶か

しても沈殿しにくいのも特徴。

バイオ科学は「徳島の特産を使った青汁を開発したかった。牛乳やヨーグルトなどに混ぜてもおいしい」としている。

香料や保存料、着色料

は無添加。1箱90号（30包入り）で2980円。

通信販売のほか、県内の

ドラッグストアなどで販売している。

問い合わせはバイオ科

学（フリーダイヤル）0120-423000。

（林啓二）

